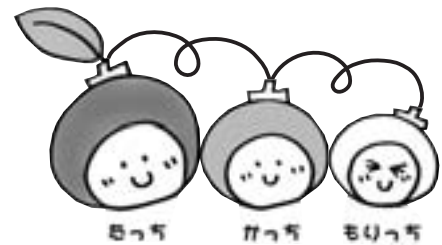


社協たかもり

※社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行されています。



社協のホームページが出来ました

これまで、「広報たかもり」や「ボランティア通信」等で、社協の活動の様子をご紹介してきましたが、この度、社協のホームページがオープンしました。

介護保険に関することから地域福祉など、トップページの目的別メニューから検索できます。また、「社協日記」では、社協の活動報告をアップしていきます。

まだまだオープンしたてのサイトですが、これから情報発信の一つとして充実させていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

●ホームページアドレス
<http://www.takamori-shakyo.com/>

※是非、アクセスください。



有事に備えて ~防災訓練~

9月12日から8日間に渡り、ミニデイサービスにおいて、地震発生とそれに伴い火災が発生したという設定で防災訓練が行われました。

消防署の方に見守っていただきながら、利用者の皆さんが、迅速に安全に避難することが出来ました。

こうした訓練を行うことで、施設内だけではなく、自宅で災害に遭われた場合でも、落ち着いて行動をしていただけたらと思います。



「まず、自分の命は自分で守る。危険だと思ったら、避難指示がなくても自主避難しましょう。」

「東日本大震災の時に、日頃から防災の意識の高いところでは被害が少なかった。防災意識を高めましょう。」

消防署の方から防災についてのお話を伺い、消火器の使い方などを教えていただきました。



暮らしの相談

■原則毎月15日(土日祝日)の場合は前平日)

- 10/14(金)13:30~16:00 福祉センター
- 11/15(火)13:30~16:00 やすらぎ荘別館
- 12/15(木)13:30~16:00 福祉センター

※10/14には行政相談が、12/15には人権相談が
あわせて行われます。

生活の中での様々なお困りごとについて相談員による相談を受け付けています。

また、女性の抱える様々な問題について、飯田保健福祉事務所の専門の女性相談員に相談が出来ます。女性相談員に相談ご希望の方は、事前に社協事務局までご連絡いただければ、お待たせすることなく相談が受けられます。

●お問合せ
高森町社会福祉協議会
電話・有線34-3717 FAX35-9589
Eメール t-shapc1@takamori.ne.jp

絵手紙ボランティアを募集します

社会福祉協議会では、絵手紙を活用しての社会福祉活動を行いたいと思います。そこで、絵手紙を描いていただける方、または、描いた絵手紙を提供していただける方を募集いたします。

テーマは「秋」 枚数は、何枚でも結構です。
なお、葉書は社協にあります。

◎詳しい内容については、社協(電話・有線34-3717)までお問い合わせください。

結婚相談

北部地区結婚相談所『愛ねっと北部』

豊丘村役場 保健センター1階

開所日/月~金曜日、第2・第4土日曜日

時間/13:00~18:00

電話/0265-34-2322(要予約)

※お電話で御予約のうえ、ご来所ください。

高原学校イン阿智に参加して

福島県伊達市の小学校5・6年生が、約9時間半かけて阿智村ふるさと村自然園に来ました。



被災地の子どもたちに、夏休みを利用して、信州の豊かな自然の中でリフレッシュしてほしいという事で、『高原学校イン信州』が、県社協と県内各地の協力で行われました。県社協からの依頼を受け、社協職員が阿智村にて子どもたちと一緒に宿泊し、24時間の見守りスタッフとして参加した様子を紹介します。

信州に被災地の子どもたちを招待
高原学校
阿智



富士見台高原山頂にて

へ入らなければならぬので、洗濯物を外へ干すことや、小雨が降ってきて少しくらい体が濡れても平気ではないけれど、とても不思議な感じが、とても不思議な様子を見て、毎日々生活をしながら大変なとしみじみ感じました。富士見台登山は歩く距離をなるべく短くしたので、ほとんどの子ども達が頂上まで登りきることができました。頂上で食べたおにぎりはとても美味しく、「足りない。」という声が多く聞かれました。子ども達は下山してからも疲れを感じさせず、その後の企画の魚のつかみ取りを何回も楽しんでいました。

伊達市には小学校が30数校あり、それぞれの小学校から集まった小学生が総勢161人参加しました。4泊5日の高原学校の日程は、プール遊びや富士見台登山、オリエンテーリング、最後の夜はキャンプファイヤーなど自然の中の遊びが企画されていました。プール遊びは震災後初めてという子ども達も多くなって、時間終了を告げてもまだ遊び足りない様子でした。福島では放射能の影響で雨が降るとすぐに室内



魚のつかみ取りにはしゃぐ子どもたち



福島の子どもの楽しさ、思い出の手伝いが少しでもでき、私も楽しい夏休みを過ごしたようなとても幸せな気持ちになりました。外で元気に遊べる当たり前の幸せが、被災地のみなさんに一日でも早く戻りますように心から願っています。(高森町社協・菅沼希代子)